

## ウェビナー申込 FAQ

1. ウェビナーの案内を戴きましたが参加するには何をどうすれば良いのでしょうか？
  - ＞ fromHC から参加申し込み手続きを実施ください。オンライン参加に必要な情報(ZOOM URL など)がメールにて届きます。
2. 開催予定のウェビナーについて当日都合がつかないため、申し込んでおりませんが、後日配信を希望します。手続きを教えてください。
  - ＞ 視聴には動画視聴用 ID の発行が必要となります。動画視聴 ID 発行ボタンよりお手続きください。講演動画は、開催 3 日後 14 時半までに fromHC へ掲載予定です。
3. 後日動画を視聴する場合も都度 ID の発行が必要ですか。
  - ＞ 一度 ID を発行いただければ、同じ ID ですべての動画をご視聴可能です。
4. 1 つの機関から複数名申込したいです。
  - ＞ 申込フォームに同伴者人数を選択する枠がございますので、そちらから人数を選ぶと入力フォームが出てきます。そちらに参加予定の方の情報を入力ください。当日ご参加する際は、ZOOM を開くとお名前を入力する枠が出ますので、漢字氏名をご入力の上、ご入室ください。

# fromHC からお申し込み方法

## 開催前



機関投資家・資産運用業界向け  
資産運用総合情報サイト

fromHC 記事一覧

HOME > ウェビナー > Vol.1 企業統治

4/12(火)  
15:00-15:40

企業統治

講演動画を視聴する

※動画視聴IDが必要です。  
※動画視聴IDの発行はこちらから

企業において、執行機関があれば経営は成り立つが、その中でガバナンス機能はどのような役割を果たすべきなのでしょう。コンサルティングとガバナンスは深い関係にあります。人材コンサルティングは内部候補を査定すると同時に、ベストな人材が存在しないかを探り続けます。ここに、社内の思い込みや善悪的評価は影響する仕組みがあります。年金基金や投資家が運用委員会を査定するのも同じです。執行以上の専門家はいます。ガバナンスとしての社外役員は客観的視点から、経営判断に必要な視点整備が行われたかを確認することになり、スマートな質問をして、執行部門が質問を駆使する過程で気づきを得るには確信度を高めることにつながります。

(文責：森紀)

講師：森本 紀行  
2021年資料：https://www.fromhc.com/210413\_HCseminar\_1.pdf  
※2022年度資料は開催1週間前以降配布予定です

2021年度で参加者よりいただいた質問  
・東京について  
・母体企業のガバナンス、フィューチャーに関する質問について  
・持株会社と子会社の機能分けについて

その他  
4/12金執行発表：金銭事業における経営陣の業務遂行のさらなる改善・定着に向けた取組みについての発表（金執行の事業成長といえます。経営陣原則について、形式ではなく実質的に評価することが求められます。年金基金の運用状況に留意していただきます。）

参加申込/動画視聴ID発行

→申込フォームへ

### アンケートの集計結果

Q1. 貴国/貴社の企業は、市場から厳しい経営改善を迫られる危機感が強いと思われるが、その理由は何かとお考えですか。

- 資金調達、銀行からの融資が中心であり、市場より、立派な銀行との関係を重視する。
- 会社一掃入、財務責任者が事業に資金配分する方が他社に比べて遅い。事業に個別採算する意識が低い。
- 融資と株式発行以外、市場環境が厳しく、資金調達に余力が乏しい。運用できない。
- 株式市場についても、失速にインフラ系運用の資金が流入しているため、事業削減されるべき企業も多くなっており、経営状態を懸念しているという意見が多い。
- その他

#### 2021年集計結果

回答	割合
1	44%
2	14%
3	7%
4	6%
5	14%

合計 100%

その他

銀行による融資が中心で、経営陣の経営改善の努力が不足と見受けられ、株主重視の経営改善

Q2. 社外取締役にも求められるような方々とお考えですか。

- 会社のことをよく知っている経営陣の人。
- 経営者と対等に話話し、はっきりと反対意見を言える人。
- 自分のよくわからないことは、後に問題になると重なるので反対する人。
- 経営者の判断を尊重しつつ、企業前向きな文化に染まることのできる中立的な常勤人として働いてくれる人。
- その他

#### 2021年集計結果

回答	割合
1	0%
2	29%
3	6%
4	64%
5	7%

合計 100%

その他

社外に非専門家、必要なら自分の利害を無視して必要な経営者でも

### テーマをよりご理解いただくために

#### ●本テーマに関連するフォーラム

##### 第六回企業年金フォーラム

事業運営を支援する企業年金の活用

このフォーラムでは、企業年金において期待に大きな地位を占める日本の現状のなかで、経営の発展と導入の必要性とあり、経営陣と年金運用機関との間に、また企業と年金の間に健全なる協働と信頼の関係を築き、成長戦略実現に向けた多面的な経営課題と具体的な提議を行いました。

#### ●本テーマに関連した「本紙発行はこちら」

「法人のガバナンスと法人のマネジメント」(2018.1.25掲載)

企業の経営上の業務執行は、専門家でなければならぬのが当然です。このマネジメントの法人に対して、マネジメントの法人は、個人であるが故に、客観的意見からなる判断を求められ、これが法人のガバナンスです。社会等に基づき客観的意見の提供について論じています。

「企業は誰のものか」(2013.16掲載)

企業は誰のものか、これは、企業統治の核心の問いですが、資本のものでしょうか、それとも、金ステークホルダーのものでしょうか、債主のものかという問い、金ステークホルダーのものかという問い、そのことを別の問いで表現すれば、資本利の最大化が企業の目的か、資本利の社会的正当化を目指すのが企業の目的か、この二問の間に企業統治が収容するという論争です。

「資金調達の必要性が企業経営をよくなる」(2020.10.15掲載)

企業は成長戦略の遂行に資金調達が必要となりますが、成長戦略の遂行には、より深く、より速く、より有利な条件で調達しなければならぬので、それが可能とならなければ経営状況を悪化させると考えます。この必要の努力が経営者にあるのですが、これに對して、金銭の果たすべき役割は何かを論じています。

「企業の資金調達目的は企業統治」(2013.59掲載)

企業が保有する資金は経営上企業からの期待に満足し、かつ、その資金を保有するための資金の調達(資本調達)を無意味化すれば、適正な企業統治が成立するのではなく、資金調達の必要性を、企業統治へとつなげています。

「経営は誰の責任かガバナンスが大事」(2021.5.20掲載)

企業経営におけるガバナンスと経営責任は、経営者の責任という観念に収束しています。経営執行部が重要な判断を下すとは当然としても、最終決定は外部専門家の意見も入れて客観的評価を必要とするべきと考えられます。客観性のあるガバナンス向上策とはどのようなものか、社外取締役の役割や機能の具体論を交えて論じています。

#### ●本テーマに関連した「読んで欲しい」

「コーポレートガバナンスと企業・経営の持続的成長」


コーポレートガバナンスに関する学術的調査を踏まえ、経営陣の視点からコーポレートガバナンスが企業の成長・価値向上とどのように関係するのかが、また、コーポレートガバナンスが経営者の判断にどのように影響を及ぼしているのかが、コーポレートガバナンスを軸として論じています。

#### ●本テーマにおいて関心あるべき用語

- コーポレートガバナンス・コード
- ロングマニフォレスト・アカウント

(文責：森紀)

## 講師・パネリスト紹介



森本 紀行  
HCアセットマネジメント株式会社 代表取締役社長

東京大学前期学術卒業、ファンドマネジャーとして三井生命(現大生命)の年金資産運用業務を担ったのち、1999年1月ワイアット(現ウイリス・タワーストーン)に入社。日本初の事業として、企業年金基金等の機関投資家向け投資コンサルティング事業を立ち上げる。年金資産運用の自動化の中で、新しい投資のアイデアも次々に導入して、業務を拡大する。2002年11月、HCアセットマネジメントを設立。全世界の投資のタレントを食糧として運用業務を行うという、全く新しいタイプの資産運用事業を始める。

HCアセットマネジメント株式会社

TEL 03-6685-0683 FAX 03-6685-0686

fromHC 記事一覧

ウェビナー

ブログに書く!

動画情報

初めての文へ

会社情報

経営陣と企業統治

マネージメント

市場の動き

市場

動画を見る

企業統治

日本のPE

サイトマップ

## 参加申込／動画視聴ID発行

下記項目に必要事項を入力の上、「入力内容を確認する」をクリックしてください。  
※該当がない場合は“なし”とご入力ください。

### お客様情報入力

\*は必須入力です

ご所属団体名(全角)\*

部署名(全角)\*

お役職名(全角)\*

ご氏名(全角)\*

ふりがな(全角ひらがな)\*

電話番号(半角英数字)\*

メールアドレス(半角英数字)\*   
確認のため、もう一度入力してください。

動画視聴IDを発行(半角英数字8文字以上)   
設定したいIDを入力ください。(半角英数字8文字以上)  
※IDは一人一つしか発行できません。既に発行済みの方は入力しないでください。  
※別の方が登録済みのIDは使用できません。

メールニュース  メールニュースの新規登録を希望する  
セミナー関連情報やオンデマンド動画配信日の案内、fromHCの更新情報などをお知らせします。メールニュース受信ご希望の方は、 にチェックを入れてください。

今後、セミナーで取り上げてほしいテーマやご質問、セミナーに関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。

当日ご視聴されない方は上記入力されましたら、ページ下部の「個人情報の取り扱いについて」へお進みください。

当日ご視聴の方は以下より、セミナータイトル横にあります参加方法をお選びください。

日付	ウェビナー	会場	セミナータイトル	時間
2022/03/22 (火)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	vol.56 金融と非金融の境目	15:00~15:40
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	vol.57 投資運用業の構造変化	15:40~16:20
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	vol.58 フィンテックが創る投資機会	16:20~17:00
2022/04/12 (火)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	Vol.1 企業統治	15:00~15:40
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	vol.2 資産構成と資本構成	15:40~16:20

同伴者人数

### 個人情報の取り扱いについて

H Cアセットマネジメント株式会社(以下「当社」という)は、事業活動を通じてお客様、取引関係者、従業員など(以下「ステークホルダー」という)の皆様から取得した個人情報は、ステークホルダーの皆様の大切な財産であるとともに、当社にとって新たな価値創造の源泉となる重要資産であることを認識して、個人情報の保護を以下の基本方針に従って適切に行います。  
個人情報の取得について

個人情報の取り扱いについて同意する

入力内容を確認する

### 会社名など、\*の必須項目

→当日参加の方も、後日動画視聴の方も、どちらも入力ください。

### 動画視聴 ID 発行

→後日、動画視聴を希望する場合は入力ください。

(英数字 8 桁以上)

※すでに発行済みの方は空欄にしてください。

当日参加を希望する方のみ、参加申込枠から、ウェビナーか会場を選択ください。

※後日、動画視聴を希望する方はこちらのチェックは不要です。個人情報の取り扱いについてへお進みください。

### 同伴者人数

→複数申込がいる場合に入力

※申し込み完了後、入力確認の自動返信メールが届きます。ZOOM 入室用の URL 等の情報が記載してあるのでご確認ください。

## 【動画掲載後】

開催後、3営業日以内に掲載予定です。

1/31(火) 16:20~17:00 資産運用セミナー vol.48 資産形成と投資信託

[講演動画を視聴する](#)

※動画視聴IDが必要です。  
※動画視聴IDの発行はこちらから

金融行政では、経済の持続的な成長とともに、国民の安定的な資産形成が掲げられています。日本の消費市場に占める高齢者の割合が高いことに加え、老後資産形成の原資に資本性があり、預金と比べて社会全体のリスクテイク力が高いことから、経済の成長につながると考えられています。個人の資産運用は、生活の目的に沿って行われるべきものです。形成資産の取り崩しや、数年後の消費に向けた運用など、用途があるからこそ、投資として規律が働き、合理的で統制のとれたものになります。

(文責：杉本)

講師：森本紀行  
参加費：無料  
資料：[https://www.fromhc.com/220208\\_HCwebinar\\_49.pdf](https://www.fromhc.com/220208_HCwebinar_49.pdf)

→ID発行済みの方は「講演動画を視聴する」ボタンをクリックしてください。

→ID未発行の方は「動画視聴 ID の発行はこちらから」をクリックして、登録フォームへ必要事項をご入力ください。



1/31(火) 16:20~17:00 資産運用セミナー vol.48 資産形成と投資信託

HCウェビナー vol.49 資産形成と投資信託  
HCアセットマネジメントより

2022年2月8日（火）  
HCウェビナーVol.49  
資産形成と投資信託

00:00 vimeo

金融行政では、経済の持続的な成長とともに、国民の安定的な資産形成が掲げられています。日本の消費市場に占める高齢者の割合が高いことに加え、老後資産形成の原資に資本性があり、預金と比べて社会全体のリスクテイク力が高いことから、経済の成長につながると考えられています。個人の資産運用は、生活の目的に沿って行われるべきものです。形成資産の取り崩しや、数年後の消費に向けた運用など、用途があるからこそ、投資として規律が働き、合理的で統制のとれたものになります。

(文責：杉本)

講師：森本紀行  
参加費：無料  
資料：[https://www.fromhc.com/220208\\_HCwebinar\\_49.pdf](https://www.fromhc.com/220208_HCwebinar_49.pdf)